

連携支援センター



「縁」たより


湖西であんきに暮ら住まい



第39号
2024年6月

「人生会議」＝ACP（アドバンス・ケア・プランニング）

昨今、高齢化が進展し人々の余命が延伸する日本において、患者の意思を尊重し、人生の最終段階における尊厳ある生き方を実現させるため重要視されています。

「人生会議」とは
将来の変化に備え、将来の医療及びケアについて患者を主体に、
その家族や親しい人、医療・ケアチームが繰り返し話し合いを行い、
患者の意思決定を支援するプロセスのこと 



あなたが病気にかかったときや、けがをしたとき、どのような医療やケアを望みますか？もしもの時に備えあなたの希望や大切にしたいと思うことについて、周囲の信頼する人たちやかかりつけ医などと繰り返し話し合い共有する取り組みのことです。


人生の「これまで」と「これから」を大切な人と話（会議）してみませんか！！

湖西市高齢者福祉課（地域包括ケア推進係）ではACP啓発・推進のための
取組として

ACP部会 を結成。在宅医療・介護連携推進協議会の委員の中のコアメンバー（病院看護師・相談員・訪問看護ステーション看護師・地域包括支援センター職員・居宅支援事業所ケアマネ・行政職員等）で構成され、検討会を定期的実施しています。

またアドバイザーとして在宅医療介護連携推進協議会の他委員も関わり、在宅医療・介護連携推進協議会にて、部会で検討した内容について報告・共有・方向性の決定をしています。

R5年度は7回開催、R6年度も4回の開催が予定されています。

6月15日発行号の広報こさいでの「人生会議」の紹介
（是非お読みください  分かり易く興味深い内容となっています）

＜広報こさい内容＞

- ①人生会議とは
- ②インタビュー 本人の思いを尊重し、それを支えた家族に話を聞きました。
最期はどこでどのように過ごしたいのか。自分の希望を家族に伝え湖西市内の自宅で最後まで「自分らしく」生き抜いた患者様。本人の思いを尊重し、それを支えた奥様にお話を聞きました。
- ③インタビュー 在宅療養支援を行う医師に話を聞きました。
大切なことはまず本人と家族の言葉を紡ぎ記録すること
市立湖西病院 副院長兼外科部長 太田 学 医師
- ④人生会議の進め方、湖西市の取組、エンディングノートの活用について



* 介護者交流会 あいあい について *

「介護者同士で、和気”あいあい,, と介護の悩み等を話しませんか？」

対象者 : 高齢者を介護している方・介護経験のある方

とき : 偶数月の第4水曜日 13:30~15:30

令和6 6/26. 8/28. 10/23. 12/25

令和7 2/26

ところ : 特別養護老人ホーム湖西白萩 1階コミュニティルーム

※申し込み不要です。



問い合わせ先: 湖西市地域包括支援センター湖西白萩 ☎ 053-573-2050

介護することは、思っている以上に大変で、イライラやストレスを解消することが大切です。

1. 気持ちをリフレッシュする時間をつくる。
2. 誰かに話を聞いてもらう。
3. 無理なく介護できる環境を作るにはどうしたらよいか考える。



介護のことでお困りの方、疲れている方等に、介護者交流会への参加を呼び掛けてみてはいかがでしょうか！！

報告 令和5年度第3回多職種研修会を実施しました！！

内容: 訪問薬剤指導と多職種連携

日時: R6. 2.22(木) 19:00~20:30

講師: 浜松薬剤師会 古見薬局 塩野州平先生



自宅や施設で療養生活を送る人の中には『薬に関する問題』をかかえている人が少なくありません！！

①認知症などの基礎疾患があるために薬の飲み忘れや飲みすぎなど適切な服薬が困難なケース。

②独居や要介護などの事情により薬局まで薬を受け取りに行くのが困難なケース。

③複数の医療機関から多くの薬が処方されて薬が重複しているケース。

このような問題がある場合に薬剤師が在宅訪問することで、改善を図ることが可能となり、患者のQOL(生活の質)やADL(日常生活動作)の維持向上や治療効果を高めることにつながる可能性があります。

飲み残されている潜在的な薬剤費が改善されることで、医療費の抑制にも大きな効果が期待できると言われています。